

令和6年度学校評価 保護者

領域		項目	内容	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
学校経営	1	教育目標	本校では、自立・社会参加、社会貢献を目指す教育活動が行われている。	51	25	3	2	1
				76		5		
教育活動	2	児童生徒の実態 に応じた教育	本校では、児童生徒の実態や発達段階等に応じた教育活動が適切に行われている。	52	24	4	1	1
				76		5		
	3	行事等の取 り組み	本校では、安全教育、健康教育、交流及び共同学習、学校行事等、児童生徒に必要な取り組みが計画的かつ適切に行われている。	59	18	4	1	0
				77		5		
	4	教育活動の 周知	本校では、HPやTeams等を通して、積極的に情報発信を行っている。	50	25	4	1	2
				75		5		
キャリア 教育	5	キャリア教育 進路指導	本校では、キャリア教育や進路指導が適切に行われている。 ※キャリア教育＝自分らしい生き方を実現するための能力や態度を育てる教育	42	27	5	7	1
				69		12		
健康教育	6	学校給食	本校では、栄養バランスの取れた給食が安心・安全に提供されている。	67	13	1	0	1
				80		1		
	7	感染症・緊急 時の対応	本校では、感染症や緊急時の対応が適切に行われている。	56	21	1	0	4
				77		1		
教育相談	8	児童生徒	本校では、児童生徒の相談をよく聞き適切に対応している。	52	20	3	2	5
				72		5		
	9	保護者	本校では、保護者からの教育相談に適切に対応している。	56	21	1	2	2
				77		3		
	10	関係機関と連携 した支援の充実	本校では、関係機関と連携した支援の充実に努めている。	45	24	3	2	8
				69		5		
生徒指導	11	人権	本校では、児童生徒の人権に配慮した行動や言葉づかいに気をつけ、児童生徒の状況に応じた適切な指導・支援が行われている。	59	14	4	2	3
				73		6		
	12	不登校への 対応	本校では、不登校について組織的に対応している。	22	12	3	1	44
				34		4		
	13	いじめへの 対応	本校では、いじめの未然防止、早期発見、早期解決等迅速な対応に努めている。	22	12	4	2	42
				34		6		
連携	14	地域社会 との連携	本校では、地域社会や関係機関と連携した教育活動が行われている。	42	20	3	2	15
				62		5		
	15	家庭との 連携	本校では、家庭と連携した教育活動を行っている。	56	21	2	1	2
				77		3		
PTA	16	PTA活動	本校では、PTA活動が適切に行われている。	45	23	6	3	5
				68		9		
環境美化	17	環境美化	本校は、環境美化に努めており、常に清潔で利用しやすい。	59	21	2	0	0
				80		2		
事務・現 業	18	安全管理	本校では、施設・設備の安全管理に努めている。	52	22	5	0	3
				74		5		
図書室	19	図書室	図書室には、児童生徒の興味がある本がたくさんある。	38	14	2	0	28
				52		2		
スクール バス	20	スクールバス	本校では、スクールバスが安全に運行されている。	56	13	2	1	10
				69		3		
寄 宿 舎	21	寄宿舎教育	本校では、寄宿舎教育が適切に行われている。	28	9	6	1	38
				37		7		
	22	家庭・学部と の連携	本校では、家庭、学部、舎が連携した教育を行っている。	30	8	2	1	41
				38		3		

学校評価アンケート児童生徒（全体）

	項目	内容	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
1	教育目標	学校はたのしい。	60	14	8	3
			74		11	
2	教育的ニーズに 応じた教育	勉強（授業）は、わかりやすい。	49	27	4	5
			76		9	
3	教育活動	先生や友だちは、よくあいさつをしてくれる。	66	15	3	1
			81		4	
4	ICT機器の活 用	iPadやパソコンが使えるようになった。	67	12	5	1
			79		6	
5	生徒指導	先生は、社会のルールについて教えてくれる。	66	10	8	1
			76		9	
6	進路指導	将来の夢を実現するためにがんばっている	62	13	7	3
			75		10	
7	学校給食	給食は、おいしい。	66	6	6	7
			72		13	
8	健康教育	先生は、健康や身体のことについて教えてくれる。	66	10	5	4
			76		9	
9	感染症対策	先生は、病気にかからないようにするためのことを教えてくれる。	61	16	4	4
			77		8	
10	安全教育	先生は安全に過ごすためのことについて教えてくれる。	70	8	5	2
			78		7	
11	教育相談	何でも相談できる先生がいる。	60	15	5	5
			75		10	
12	人権	先生は、やさしくわかりやすい言葉で、ていねいに教えてくれる。	64	13	5	3
			77		8	
13	いじめへの 対応	先生は、こまったときに助けてくれる。	65	14	2	4
			79		6	
14	環境美化	大平特別支援学校は、掃除されていて、お花がいっぱいあるきれいな学校である。	64	16	3	2
			80		5	
15	図書室	図書室には興味がある（好きな）本がたくさんある。	50	18	8	9
			68		17	
16	スクールバス	スクールバスに乗ることが好き。	44	9	15	17
			53		32	

令和6年度学校評価・教職員（全体）

領域		項目	内容	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
学校経営	1	教育目標	本校では、自立・社会参加、社会貢献を目指す教育活動が行われている。	57	76	4	0
				133		4	
	2	学校運営・学部運営	本校では、全職員の協力・協働のもと、適切なカリキュラムマネジメントに基づいた学校運営・学部運営が行われている。	33	87	14	3
				120		17	
	3	情報の共有	本校では、情報の共有化や管理者・関係部署等との意思伝達（報告・連絡・相談）が、的確に行われている。	34	74	24	5
				108		29	
	4	法令遵守	本校では、体罰防止、人権尊重、個人情報保護・守秘義務等の法令遵守の徹底に常に取り組むと共に、私費会計等については、適正に処理している。	64	63	7	3
				127		10	
教育活動	5	教育的ニーズに応じた教育	本校では、児童生徒の実態や発達段階等を把握し、教育的ニーズに応じた教育活動が適切に行われている。 （教育支援計画、指導計画の作成及び活用と観点別評価の充実）	43	83	9	2
				126		11	
	6	指導の一貫性	本校では、学級・学年・学部間の連携がとれ、一貫性のある教育課程の編成及び特色のある教育指導に取り組んでる。（学部会・教科会等の充実）	34	86	15	2
				120		17	
	7	行事等の取り組み	本校では、安全教育、健康教育、交流及び共同学習、学校行事等、児童生徒に必要な取り組みが計画的かつ適切に行われている。	63	67	7	0
				130		7	
キャリア教育	8	キャリア教育 進路指導	本校では、キャリア教育・進路指導が適切に行われている。 ※キャリア教育＝自分らしい生き方を実現するための能力や態度を育てる教育	48	76	12	1
				124		13	
健康安全	9	学校給食	本校では、栄養バランスの取れた給食が安心・安全に提供されている。	107	28	2	0
				135		2	
	10	危機管理	本校では、感染症や緊急時の対応、児童生徒に対する健康教育が適切に行われている。	77	59	1	0
				136		1	
	11	危機管理	本校では、学校防災危機管理体制の充実に努めている。 （避難訓練、不審者対応訓練等の実施、緊急時マニュアルの整備等）	79	53	5	0
				132		5	
教育相談	12	児童生徒	本校では、児童生徒の相談をよく聞き、適切に対応している。	68	65	3	1
				133		4	
	13	保護者	本校では、保護者からの教育相談に適切に対応している。	80	56	1	0
				136		1	
	14	関係機関と連携した支援	本校では、関係機関と連携した支援の充実に努めている。	70	62	4	1
				132		5	
生徒指導	15	人権	本校では、児童生徒の人権に配慮した行動や言葉づかいに気をつけ、児童生徒の状況に応じた適切な指導・支援が行われている。	52	72	13	0
				124		13	
	16	不登校への対応	本校では、不登校について組織的に対応している。	51	68	18	0
				119		18	
	17	いじめへの対応	本校では、いじめの未然防止、早期発見、早期解決等迅速な対応に努めている。	67	69	1	0
				136		1	
連携	18	地域社会との連携	本校では、地域社会や関係機関と連携した教育活動が行われている。	38	89	10	0
				127		10	
	19	家庭との連携	本校では、説明責任を果たし、家庭と連携した教育活動を行っている。	68	66	3	0
				134		3	

研修	20	授業改善	本校では、分かりやすい授業の創意工夫を図るとともに、児童・生徒が主体的に活動・行動しようとする意欲・態度を育てる授業改善を行っている。	56	75	5	1
				131		6	
	21	校内研修	本校では、校内研修を計画的に実施し、教職員の専門性向上に努めている。	61	65	10	1
				126		11	
PTA	22	PTA活動	本校では、PTA活動が適切に行われている。	66	67	4	0
				133		4	
環境美化	23	環境美化	本校は、環境美化に努めており、常に清潔で利用しやすい。	65	64	7	1
				129		8	
事務 ・ 現業部	24	事務処理	本校では、法令等に従った適切な事務処理がされている。	89	47	1	0
				136		1	
	25	安全管理	本校では、施設・設備の安全管理に努めている。	68	65	2	2
				133		4	
図書室	26	図書室	本校の図書室では、学校教育に必要な図書資料等が整理・保管・活用されている。	82	51	4	0
				133		4	
スクールバス	27	スクールバス	本校では、スクールバスが安全に運行されている。	83	54	0	0
				137		0	
寄宿舍	28	寄宿舍教育	本校では、寄宿舍教育が適切に行われている。	95	42	0	0
				137		0	
	29	家庭・学部との連携	本校では、家庭、学部、舎が連携した教育を行っている。	84	52	1	0
				136		1	
働き方改革	30	人間関係	本校では、同僚・管理者との良好な人間関係の構築ができています。	36	72	19	10
				108		29	
	31	業務における裁量	本校では、個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています。	20	48	51	18
				68		69	
	32	信頼関係	本校では、児童生徒との信頼関係を深めることができています。	57	73	7	0
				130		7	
	33	研修・研究の充実	本校では、より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	37	71	26	3
				108		29	
	34	心身の健康・職場環境	本校では、心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成が「」できています。	31	65	32	9
				96		41	

令和6年度学校関係者評価（学校評議員）

項目		項目	内 容	そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない
学校経営	1	教育目標	教育目標を分かりやすく伝えている	3	2	0	0
教育活動	2	教育実践	教育課程について適切に取り組んでいる。	4	1	0	0
	4	健康・安全	健康・安全教育に適切に取り組んでいる。	4	1	0	0
	5	環境美化	校舎内外の環境美化に適切に取り組んでいる。	4	1	0	0
キャリア教育	6	進路指導	適切な進路指導に取り組んでいる。	3	2	0	0
健康教育	7	PTA活動や 地域との連携	保護者や地域と連携し、円滑な学校運営に取り組んでいる。	3	2	0	0
	8	組織体制	校長のリーダーシップのもと学校が適切に運営されている。	4	1	0	0
教育相談	9	学校評議員会	学校評議員会が適切に運営されている。	4	1	0	0

記述

10. その他、ご意見等があれば、こちらに記入して下さい。

- ・医療的ケア児が看護師帯同で校外学習に参加出来たことは、大切な家族支援であり、家族が安心して子育て出来る環境だと思う。
- ・学校間交流が増えてきた。教師間での事前打合せの時こそ、特支の児童生徒の特性や授業の様子を伝え、知って頂く絶好の機会だと思う。
- ・寄宿舍が設置されているので、寄宿舍ならではの特色ある取組が沢山のされている。寄宿舍に入舎出来なかった生徒の家族にも取組の様子を伝えて頂くと、家庭での取組の参考になると思う。
- ・精神科のドクターをお招きしての事例検討会やPT、ST、視能訓練士の招聘は、学校だけで課題を抱えるのでは無く、専門家のアドバイスを得ることにより、先生方や保護者にも心強く、善い方向へ活かせると思うので、とてもよい取り組みだと感じた。
- ・感染症対策で、運動会や愛汗祭、式典など、児童生徒の活躍の場を直に見ることが出来なかったことが心残りです。
- ・3年間、学校評議員として貴重な経験をさせて頂きました。お世話になりありがとうございました。これからも大平特別支援学校が地域に愛され、ますます発展しますように心からお祈り申し上げます。
- ・教職員の働き方改革は全県的課題となっています。出来る範囲で少しずつ課題解決に向け取り組んで欲しいと思います。
- ・大平特別支援学校の取り組みを知る機会をいただき感謝致します。福祉サービス事業所側の視点や情報を学校現場へ活かせるように、評議員として取り組んでいきたいと思っています。

学校評価結果分析

1 保護者（回答内訳 小：41名 中：17名 高：24名 ）

全体的に見て、概ね良好であると思われるが、「あまりそう思わない・そう思わない」の回答が10%以上を占めた項目は以下の2項目である。

なお、学部別に分析するのは人数が少数になるため、全体の結果のみを以下に示す。

	10%以上の項目
全 体	5. キャリア教育・進路指導 16. PTA活動

キャリア教育・進路指導があげられた理由については、記述の意見には個別に応じた指導を希望する意見があり、キャリア教育の目的である、自分らしい生き方を実現するための能力や態度を育てる教育という部分についてもっと取り組んでほしいという思いだと感じた。次年度は更に、本校のキャリア教育・進路指導について保護者と共有し、連携した取り組みを進めていきたい。

PTA活動については、PTAの部会やPTA主催の研修会、また学校行事も平日開催が増えたため、参加できない保護者から土日の開催を希望する声があり、子どもの成長を見たい（授業参観）や保護者同士のつながりを持ちたいという気持ちでの意見だと感じた。土日開催については検討が必要であるが、PTA行事については先日も小学部のPTAレクを土曜日の午前中に開催し、児童や保護者、教職員との交流ができた。次年度以降も、必要に応じて土・日の行事開催も検討していきたい。

2 児童生徒（回答内訳 小：13名 中：21名 高：51名 ）

小学部については、すべての項目でほぼ良好であった。中学部については、「5. 生徒指導」「6. 進路指導」「8. 健康教育」「15. 図書室」「16. スクールバス」の5項目について、「あまりそう思わない・そう思わない」の回答が多い結果であった。（20～30%）

高等部においては、51名の回答があり、多くの項目で10%以上の割合で「あまりそう思わない・そう思わない」と回答している。特に20%以上については「学校給食」「図書室」「スクールバス」の3項目があがったが、記述の内容では、「図書室で好きな漫画を読みたい」という意見はあったものの、残りの2項目についての意見は特になかったので、理由についてはわからなかった。しかし、「責める友達がいる」「いやなことがないようにしたい」など気になる記述もあるので、生徒指導を中心に指導・支援していく必要がある。また、「楽しみの時間がほしい」という意見もあがっており、高等部の発達段階に応じた行事の持ち方について、生徒の意見を取り入れた取り組みを検討している。

3 教職員（回答内訳 小：39名 中：30名 高：50名 ）

全体的に見て、概ね良好であると思われるが、「あまりそう思わない・そう思わない」の回答が20%以上10%以上を占めた項目は以下のとおりである。

	20%以上の項目	10%以上の項目
全 体	3. 情報の共有 30. 人間関係 31. 業務における裁量 33. 研修・研究の充実 34. 心身の健康・職場環境	2. 学校運営・学部運営 5. 教育的ニーズに応じた教育 6. 指導の一貫性 8. キャリア教育・進路指導 15. 人権 16. 不登校への対応 21. 校内研修
小学部	30. 人間関係 31. 業務における裁量 33. 研修・研究の充実 34. 心身の健康・職場環境	3. 情報共有 4. 法令順守 6. 指導の一貫性 15. 人権
中学部	3. 情報の共有 30. 人間関係 31. 業務における裁量 33. 研修・研究の充実 34. 心身の健康・職場環境	2. 学校運営・学部運営 4. 法令順守 6. 指導の一貫性 8. キャリア教育・進路指導 15. 人権 16. 不登校への対応 18. 地域社会との連携 23. 環境美化
高等部	2. 学校運営・学部運営 3. 情報の共有 6. 指導の一貫性 30. 人間関係 31. 業務における裁量 33. 研修・研究の充実 34. 心身の健康・職場環境	5. 教育的ニーズに応じた教育 8. キャリア教育・進路指導 15. 人権 16. 不登校への対応 21. 校内え mms 辞意 23. 環境美化 32. 信頼関係

※寄宿舎、事務・現業職員に関しては、「あまりそう思わない・そう思わない」の回答がほぼなかった。（項目によって、あまりそう思わないが1名いた）

全体の20%以上の項目については、どの学部も20%以上となっているため、全体として改善を図るための方策を示し、次年度取り組んでいく必要があると考える。

改善に向けて以下の意見があげられた。

	改善策等のアイディア
小学部	・ 定数増、補充教員の素早い配置 ・ 授業時数の低減（標準時数に近づける） ・ 外部委託（毎日の交通誘導、清掃など）
中学部	・ 職員を支える負担感 ・ 学部会等で議題にして全職員で対応策を考える ・ 業務量の偏りの改善 ・ 職場環境の改善と職員の健康管理（クーラーの稼働） ・ 教員数の増と授業時数の低減 ・ 情報共有ツールの取捨選択と整理
高等部	・ 対面での職員会議等の実施 ・ 各部署だけでなく全体での情報共有と話し合いの実施 ・ 本務職員数の増 ・ 一人一分掌の廃止（業務量の偏りの改善） ・ 職場環境の改善（休憩室の整備）

- ① 小学部から上がっている定数増については、次年度の定数増が見込まれているので、改善できると思われる。小・中の授業時数の低減についても、次年度は教材研究日等を設定するなど、児童・生徒の早下校の日を設けたことで、改善できると考える。
- ② 中学部からあげられた情報共有ツールの取捨選択と整理についても教務主任を中心に４月からすでに取り組んでいることではあるが、各学部、各分掌、会議に関連する資料、毎週行われる終礼等々、膨大な情報量がいろいろなツールで共有され、また各部署で決めた保存場所・方法で行っているため、全体を掌握することができず、今年度で解決することは難しい状況である。今後もルール設定を行い、迷いなく情報を引き出すことができるような情報共有ツールの選択と整理を継続して取り組んでいく。
- ③ 中・高からあげられた業務量の偏りの改善についても、一人一分掌の解消や校務分掌の見なおしを行っており、次年度の改善に向けて取り組んでいる。

10%以上の項目については、各学部ばらつきはあるが、共通しているものとして「人権」「指導の一貫性」があげられる。その改善策として挙げられた意見として、「マルチトリートメントに関する全体研修」「教科中心の教育課程の見なおし」「学部間連携」などがあげられている。学部間連携に関しては、今年度から小・中・高の教科会を開催しており、次年度は更に教科会を充実させ、各教科の縦のつながりをと指導の一貫性に取り組みたいと考えている。